

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会

## Bangladesh社会から見たロヒンギャ難民 ：難民受入国から送出国へ

2017年の大量難民発生以降、Bangladeshはロヒンギャにとって最大の一次受入国であるが、ミャンマーへの送還事業が頓挫し、母国帰還に希望が持てない中、キャンプから国外へと脱出するロヒンギャが増加している。本発表においては、ロヒンギャ難民受入国であるBangladeshが、事態が長期化する中で難民送出国となっている現状について、キャンプの状況やBangladeshの社会情勢の変遷から考察を加える。

2023年11月1日(水)

16:30~18:00

ZOOMによるオンライン研究会

■ **報告者** 日下部 尚徳 氏 立教大学 准教授

■ **司会・コメント** 中山 裕美 氏 東京外国語大学 准教授

本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

